

イヌマキ等の害虫(キオビエダシヤク)被害にご注意ください

近年、イヌマキ等（イヌマキ(ヒトツバ)、ナギ、ラカンマキ）の害虫である「キオビエダシヤク」の生息が確認されています。

今後の被害の拡大が懸念されますので、ご自宅の庭にイヌマキ等がある方は十分注意してください。なお、市では駆除の依頼を受け付けておりませんのでご了承ください。

生態や対処法等については、以下のとおりです。

■キオビエダシヤクはどんな虫？

成虫は、全体的に濃い紺色で、羽に黄色の帯がある美しい蛾（体長2cm程度、開張5cm程度）で、昼間飛び回ります。幼虫は5cm程度のシャクトリムシで、頭、尻及び側面がオレンジ色で、他の部分は灰色と黒色のまだら模様をしています。

幼虫は振動等に敏感なため、木を揺ると糸を吐いて垂れ下がってきます。

幼虫のみが、マキ科のイヌマキ(ヒトツバ)、ナギ、ラカンマキの葉を食害します。全葉食害を繰り返すと樹木が枯死する場合があります。



■発生したらどうやって防除するの？

①幼虫の発生が少ない場合

木を揺すって落ちた幼虫を捕殺します。また、木の根元の土中に茶褐色で紡錘型をしたサナギがいますので、掘り出して捕殺します。成虫は、捕虫網などで捕殺します。

②幼虫が大発生しているとき

薬剤散布が効果的です。薬剤がムラ無く葉の裏にもかかるように散布します（幼虫は葉の裏にもいます）。その後は定期的に観察して発生を確認したら散布を実施します。発生状況にもよりますが、目安としては2週間に1度程度の頻度での散布が望ましいとされています。

ただし、薬剤散布は幼虫を殺すには効果がありますが、成虫、卵及びサナギには効果がありません。使用する薬剤の例は以下のとおりです。

■効果のある薬剤は？

薬剤名	希釈倍数	販売取扱
トレボン乳剤	4,000倍	農薬取扱店（園芸専門店、ホームセンター等）

※薬剤散布の際は十分に飛散防止対策を行ったうえで、散布してください。

（薬剤散布時の注意事項については裏面参照）

■自分で薬剤散布する時に気をつけることは？

- ① 薬剤散布を行う前には、あらかじめ近所の方にも連絡し、また、周辺の農作物や通行人等に飛散しないように注意しましょう。
- ② 薬剤散布は、風がない時に、日中の暑い時間を避け、朝夕の涼しい時間帯に行いましょう。
- ③ 薬剤の使用にあたっては、ラベルの説明書を必ず読んで、記載内容に従って正しく使用しましょう。
- ④ 薬剤の希釈倍数を間違えないように注意しましょう。（決められた希釈倍数より濃い濃度での散布はできません。）
- ⑤ 薬剤散布を行う際は、薬剤が体に付着しないようにマスク、手袋、帽子、長靴、雨合羽などを着用しましょう。
- ⑥ 薬剤散布後はただちにうがい、洗眼を行い、また手足等を石鹸で洗い、衣類は下着まで着替えましょう。

※ 農薬については、国の登録を受けて製造販売されるもので、農薬取締法による製造・使用等の制限があります。また、使用時期・回数・分量なども規定どおり行うことが義務付けられています。
違反した場合は、販売者・使用者とも罰せられます。

■自分で薬剤散布が難しい場合は？

造園業者等にご相談下さい。ただし、業者による薬剤散布は有料となっております。

なお、現在、造園業者等にキオビエダシヤクを対象とした薬剤散布の依頼が殺到していることから、散布の日程について希望に添えない、又は散布の依頼を受け付けることができない場合があるようですので、ご留意ください。

【問い合わせ先】

日向市環境政策課 環境公害係

TEL : 0982(53)2256 FAX : 0982(53)9260

E-Mail : kankyo@hyugacity.jp